

平成30年度 総合的な学習の時間 年間指導計画

広島市立基町高等学校 全日制 課程

実施学年(2)年

名称	総合学習
目標	自ら設定した現代社会の諸課題の解決策を検討することを通じて、自分自身の生きる目的を社会とのかかわりの中で発見させる。
育てようとする資質や能力及び態度	(1)学習方法に関すること 複雑な問題状況における事実や関係を構造的に把握し、自分の考えを形成する。 学習の仕方や進め方を内省し、現在および将来の学習や生活に生かそうとする (2)自分自身に関すること 目標を明確にし、課題の解決に向けて計画的に着実に実行する。 自己の将来について具体的に考え、夢や希望を持つ (3)他者や社会とのかかわりに関すること 異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重し理解しようとする。 互いを認め特徴を生かしあい、協同して合意を形成する。
内容	(1)学習課題 自己の在り方生き方や進路にかかわること (2)学習対象 職業の選択と社会への貢献及び自己実現 (3)学習事項 現代的な諸課題の社会経済的背景、歴史的要因 現代的な諸課題の解決策の学問的裏付け 自己の在り方生き方を実現するための知識・技能
付与する単位数	1単位
授業時数の配当方法	週時程上、特定の曜日・時限に授業を固定し、1年間を通して均等に時間を配当する。 また、修学旅行の2日目にまとめ取りを行う。
教材の使用等	・クラス(班別)研修における研修内容の決定にあたってはクラスで適宜書籍購入を行う。 ・進路研修では研修班別に、書籍を購入したり、ビデオの視聴等の後に意見交換を行って意識を高めたり、過去の研修レポート等を参考にして学習を進める。
評価基準・評価方法	ア 授業・研修等への取り組み状況 イ 課題の提出状況 ウ 出欠状況 以上を総合的に判断する A 学習課題を設定し、問題解決に向けて意欲的に取り組み、考察・表現において優れた成果をあげた。 B 学習課題を設定することができ、考察・表現において工夫がみられた。 C 課題への取り組み・考察・表現において不十分な取り組みがみられた。
学習形態	個人研究とグループ活動
指導体制	修学旅行実行委員会 第2学年会担当 校内の既存の「将来構想プロジェクト」及び「学習指導委員会」において、学習を進めていく様々な課程(名称を設定する場面、生徒が課題を設定する場面、探求活動を行う場面、学習成果を発表する場面等)での具体的な連携の在り方について検討する。

単元	月	研究の過程	学習内容・学習活動	時数	学習形態(場所)	各教科・特別活動等との関連・指導上の留意点等
進路研究 セミナー に	4	情報収集	課題レポートの作成	1	個人レポート作成	国語を適切に表現し的確に理解する能力及び、伝えあう力、思考力や想像力を活用する。 目標を明確に提示する。
	5	整理・分析	課題レポートの作成 学問分野の研究	5	個人レポート作成 進路研修班別活動	各種の資料を収集・選択し、それらを読み取り解釈すること、観察、見学及び調査・研究したことを発表したりまとめたりするなどの様々な学習活動により育成された力を活用する。
	6	情報収集	学問分野の研究	4	進路別研修班別活動	情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を活用する。

	7	情報収集	専門家の講話とディスカッション	2	進路別研修班別活動	情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を活用する。
進路別研修と発表	8	情報収集	研修先施設についての調査	2	個人調査 研修班別調査	情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を活用する。
	9	情報収集	研修先施設についての調査	1	進路別研修班別活動	情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を活用する。
	10	情報収集 整理・分析	社会人等の講話とディスカッション グループでの討論	11	研修先での グループ学習	学ぶこと働くことの意義の理解、才望ましい勤労観・職業観の確立、力主体的な進路の選択と決定が密接に又は直接的に関連するので内容の深化を図るとともに重複を避けるために進路指導部との連携を密にする。
	11	整理分析 まとめ・発表	グループでの討論 研修発表会	5	進路別研修班別活動 ポスターセッション	学ぶこと働くことの意義の理解、才望ましい勤労観・職業観の確立、力主体的な進路の選択と決定が密接に又は直接的に関連するので内容の深化を図るとともに重複を避けるために進路指導部との連携を密にする。
個人レポートの作成	12	整理分析	個人レポート作成・討論	1	個人研究 グループでの討論	国語を適切に表現し的確に理解する能力及び、伝えあう力、思考力や想像力を活用する。
	1	整理・分析	個人レポート作成・討論	3	個人研究 グループでの討論	国語を適切に表現し的確に理解する能力及び、伝えあう力、思考力や想像力を活用する。 目標を明確に提示する。
	2	整理・分析	個人レポート作成・討論	3	個人研究 グループでの討論	国語を適切に表現し的確に理解する能力及び、伝えあう力、思考力や想像力を活用する。
	3	まとめ・表現	1年間の学習に対する自己評価	1	進路別研修班別活動	担任が中心となって進めていく。
備考	計画的にホームルーム教室や特別教室、研修発表に当たってはコンピュータ教室などを適宜利用して、探求活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てるようにする。					